

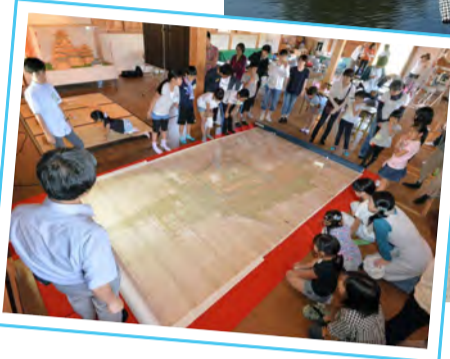


岩波理咲記者

松本市1年



どこにおたからがあるかわかんなかったから、うきうきどきどきして、がんばってやろうっていうきもちになりました。やったらやりがいがありました。みのやきやおちゃわんのかけらがみつかりました。もっとやりたいときにおわってしまいました。とってまたのしくておもしろくて、またやりたいです。



加島さわ記者

松本市年長



はくつしたのがたのしかった。あかりをともしおさをみつけました。かまやつまようじとかつかいました。かまがいちばんたのしかった。とんがるところでほりました。そおとこわれないようにやりました。ちょっとずつほりました。

浜野結記者

南箕輪村3年



発くつで、土をほっておかしの人が使っていた物を見つけた。ほりつづけたら、はしの長いのと短いのと、かなぐとうつわのかけらが出てきた。最後までに四つもおかしの人が使っていた物を見つけれられて「やった!」と思った。「終わりです」といわれた時にもっとやりたいと思った。

浜野杏記者

南箕輪村1年



(つぎの日に) まつもとじょうにのぼってきました。かいだんのたかさがたかくて、あしがとどきにくかったです。かべのあながはじめはなんのあなかわからなかったけど、おしえてもらって、てっぽうのあなだとわかりました。はじめて6かいにのぼったら、とてもたかくてびっくりしました。

第13回信毎こどもスクール 「しんまい火山の学校」

参加者募集!

火山はどうして噴火するんだろう? 第13回信毎こどもスクール「しんまい火山の学校」を10月25日、浅間山のふもとの北佐久郡御代田町で開きます。火山の知識や噴火の仕組みなどを専門の先生たちのお話や体験教室で学びます。



- 日時 10月25日(日) 午後1時~4時半
会場 エコールみよた
対象 小学生(定員100人程度、先着順)
参加費 拝兵米斗
第1部 「火山のお話」
先生 東京大学名誉教授(火山学) 荒牧重雄さん

しんまい火山の学校で講師を務める林信太郎先生(写真の中央)が、9月27日に富山市の富山大学で開かれた日本火山学会の公開講座で「噴火実験」をしました。約30人の小中学生が参加して、火山の模型の火口部分から飛び出す石の飛び方を見ました。火山の学校でも噴火実験があります。

- 第2部 体験教室 2つを入れ替わりして全員が体験します
☆「キッチン火山実験」
身近にある食材や材料で噴火現象を再現してみます
先生: 秋田大学教授(火山学) 林信太郎さん

- ☆「岩石標本を作ろう」
浅間山の石で標本を作ります。持ち帰れます
先生: 御代田町・浅間縄文ミュージアム主任学芸員 堤隆さん

※こどもスクール取材することも記者の募集は定員になったのでしめきりました。

申し込み方法

- ①郵便番号 ②住所 ③参加する小学生と保護者の名前 ④学年と年れい
⑤電話番号を書いて、信濃毎日新聞社読者センター「信毎こどもスクール」係あてへ。申し込み順に聴講券を送ります。
▽はがき 〒380-8546 長野市南泉町657
▽ファクス 026・236・3193
▽メール e-chiiki@shinmai.co.jp
問い合わせは、信毎読者センター ☎026・236・3110

第6回 写真と俳句のコラボ! 「全国フォト×俳句選手権」作品募集! どしどし応募してね!

信濃毎日新聞社は毎年、写真と俳句を組み合わせた作品「フォト×俳句」を募集して、全国フォト×俳句選手権を開いています。高校生以下を対象にしたジュニア部門もあります。ジュニアグランプリには、デジタルコンパクトカメラをおくります。小学生の作品が選手権全体のグランプリに選ばれることもあります。作ったことがない人も、楽しみながら挑戦してみてください。

めざせ グランプリ

▽昨年のジュニアグランプリ

ジュニア部門審査員

Kono Saki 神野 紗希さん



俳人。1983年、愛媛県松山市出身。高校時代、俳句甲子園をきっかけに俳句を始める。2004年から6年間、NHK「俳句王国」司会。俳句甲子園審査員長、明治大学兼任講師。句集に「光まみれの蜂」など。東京在住。



春を待つ制服という殻の中

主な賞

- グランプリ: 1点(賞状、ニコン1 J5)
準グランプリ: 1点(賞状、ニコンデジタルコンパクトカメラ)
~以下の賞は高校生以下から選考~
ジュニアグランプリ: 1点(賞状、ニコンデジタルコンパクトカメラ)
審査員ジュニア特別賞: 2点(賞状、記念品)

しめきり 10月31日(土)
郵便かメール、ホームページから応募できるよ。
くわしくはホームページをみてね。

ホームページ http://www.shinmai.co.jp/photo-haiku/
ホームページが見られない人など、問い合わせは信毎読者センター(電話026・236・3110)へ。募集チラシを送ります。

写真も俳句もひとりで作ってね。